

県立中央農業高等学校 令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和7年3月5日(水) 15:00～16:50 会議室

司会：副校長（中央農業） 記録：副校長

欠席者：海西中学校校長

1. 会長あいさつ 会長より
2. 学校長あいさつ 校長より
3. 令和6年度 各グループ活動報告

- 学校運営G 報告
- 生徒活動G **資料1** 報告
- 保健・生徒支援G **資料2** 報告
- キャリア支援G **資料3** 報告
- 学習支援G 報告
- 農場G **資料4** 報告

質問及びご意見

- サポートドックのアンケートでリストアップされてきた内容と実際の先生方の面談を行ったときに内容に乖離があることはあるか。（神奈川工科大学教授）

⇒実際にサポートドックの結果から心配して面談を行ったときに、それほど大きな問題とならないものもある。また、サポートドックを開始して、2年目となり生徒たちの中で、「アンケートに何か書くと呼び出されるので何も書かない」という生徒がおり、これは、本来の趣旨と離れる事実が発生している。また、アンケート結果をどこの段階まで情報を公開して、職員間で共有するかという問題も発生してきている。（保健・生徒支援GL）

- 前回(第2回)の協議会の際に授業の見学をさせていただき、その際に学科ごとの交流について見させていただき、今回報告にもあったが、例えば畜産科学科の生徒が習ったことを園芸科学科の生徒へ教えるなど、人に教えるということは内容を理解する上で大変良いことだと思う。そのことについて生徒たちの反応等はどうか。（会長）

⇒それぞれの学科の特徴を生かし専門性の高い実習等について交流を行うと園芸科学科の生徒は普段扱っていない動物に大変興味をもったり、その逆に畜産科学科の生徒は植物のことをもっと詳しく知りたくなるなど、今年度実施し大変有効であることを実感している。（農場GL）

4. 令和6年度 学校評価報告書について

- 学校関係者評価 **資料5** 報告（副校長）

事前にご意見をいただいていたものをまとめた。さらにご意見やご質問がありましたらお願いしたい。（副校長）

質問及びご意見

●職員玄関にあるロッカー型自動販売機の導入効果について教えてもらいたい。(かながわ農業アカデミー校長)

⇒J A 共済連より寄付していただいたものである。稼働にあたりお金の取扱い基準がなく当初それをつくるのに時間がかかってしまったが、冷蔵装置もついていて大変よい。しかし、21BOXしかないためすぐに売り切れてしまう。また、これからは冷蔵機能を活かした品物を入れることについても検討している。(農場 GL)

●人権教育校内研修について大変有効であったとあるが、その内容について詳しく教えてもらいたい。(かながわ農業アカデミー校長)

⇒8月に教育委員会学校支援課栗野副課長を講師として講演をもらった。内容は、「いじめ」の対応方法について法令(いじめ防止対策推進法)に基づいた具体的な対処方法について紹介してもらった。相手のことを思って善意をもって言った言葉でも受け取り側によっては、「いじめ」としてとらえられるということもあるというような事例紹介等も行われた。(保健・生徒支援 GL)

⇒むかしと異なり、単純に暴力・金銭強要・SNSによる誹謗中傷だけではなく、いじめ防止対策推進法という法律は被害を受けたと感じた生徒が「いじめです。」と言ったら、「いじめ」として認知してそれに関して事実確認を行い、その後「いじめ」として認定するかどうかは、学校が行うというものである。学校は組織として対応することとなっている。(校長)

●農協には、ヘルプラインというものがあって、相談できる窓口があるが、学校には生徒等の様々な問題について、相談する窓口はあるのか。また、大学にも窓口はあるのか。(会長)

●大学には、学生課が窓口となっている。(神奈川工科大学教授)

⇒高校には、高野が所掌する保健・生徒支援グループに教育相談の部門があると同時に各学年に教育相談コーディネーターの職員を配置している。しかし、全くかわりのない職員にいきなり相談するのは難しいので、やはりはじめは担任が窓口となることが多い。(校長)

●農業アカデミーでは、このようなことがあった。学生と近い関係を持っている担任だからこそ自分自身で対応しようとして初動が遅れてしまうことがある。もっと俯瞰した状態で見ていくことができれば対応が変わったのではないかという案件があった。しかし、そのような点を補完する意味で、カウンセラーによる学生の全員面談を行っている。(かながわ農業アカデミー校長)

●生成AIの使用法について、これからの時代、大学では使わないということは考えられない。課題研究等いろいろな科目がある中で、高校ではルールや基準があるのか。(神奈川工科大学教授)

⇒本校では基準はない。使用に関して規制は行っていない。しかし、使ったものをそのまま提出して思考判断等の自分の力になるのかという点を生徒へ教えていかなければならない。(校長)

●生徒は生成AIをみていると思うが、自分なりになおしていると思っている。ベースとなっているものをなおすことも勉強になっていると思う。(副会長)

●他校へ行く機会があり、いろいろな学校へいくが、中央農業高校の生徒はあいさつが大変よく気持ちが良い。また、教室の汚れ、服装の乱れや話を聞く態度等も全く気にならない。そういった中央農業の伝統が継承されている点に毎回感心させられる。(かながわ農業アカデミー校長)

●農福連携に携わっている生徒活動は素晴らしい。障害のあるえびな支援の生徒に対して、きちんと対応することができる生徒がおり、他者を尊重する力や人権意識が中央農業の生徒たちは育ってい

と感じる。校長もはじめに仰っていた「魅力ある中農」としてそういった生徒の人材を育成できる学校であるところをPRしていつてもらいたい。

5. その他

○令和7年度役員についてのお願い

委員の任期は単年度であるが、できれば次年度も皆さんに委員を継続してお願いしたい。すでに役職交代により退任が決まっている方もいる。

退任者：本校PTA会長